

● Ildebrando Pizzetti [1880-1968]

「Messa di Requiem」 [1922] より

Requiem

Dies Irae

● Edvard Grieg [1843-1907]

混声合唱とピアノのための

「歌曲集」 寺嶋陸也 編曲 [2007編曲委嘱] より

Jeg elsker Dig 君を愛す

To brune Øjne 二つの茶色の目

Margretes Vuggesang 子守歌

Våren 春

En Svane 白鳥

● 三善晃 [1933-2013]

混声合唱組曲

「嫁ぐ娘に」 高田敏子 詩 [1962]

● 信長貴富 [1971- ]

混声合唱・弦楽合奏・ピアノのための

「詩想の森 —2つのバラッド—」 長田弘 詩 【委嘱・初演】

■ 指揮: 栗山文昭

■ ピアノ: 草冬香

■ ヴァイオリン: 吉岡麻貴子/寺井馨

■ ヴィオラ: 森口恭子

■ チェロ: 門脇大樹

■ コントラバス: 高橋洋太

合唱団響 -Kyo-

響

演奏会2022

〈C.H.に〉

TOKYO CHOIR KYO CONCERT 2022

2022.

10.2 [日] 15:00開演 [14:15開場]

東京オペラシティ

コンサートホール: タケミツメモリアル

● チケット (全席指定) 前売 S席 3,000円/A席 2,500円/学生席 1,000円  
当日 S席 3,500円/A席 3,000円/学生席 1,500円

後援 21世紀の合唱を考える会 合唱人集団「音楽樹」  
東京都合唱連盟

主催 合唱団響 <http://choirkyo.a.la9.jp/>  
栗友会



@choirkyo



/choirkyo

栗友会  
RITSUYUKAI

# 合唱団響 -Kyo- 演奏会2022 (C.H.に)

ピツェッティの『レクイエム』は、自身の妻の追悼のために書かれ、初演から100年目となる作品。C.H.の祖国ノルウェーを代表する作曲家グリーグの歌曲を、寺嶋陸也により合唱曲に編まれた『グリーグ歌曲集』より有名な「春」を含む5曲。そして、三善晃の初期の傑作『嫁ぐ娘に』。終曲の「かどで」はC.H.に愛され、彼の大切なレパートリーだった。信長貴富による『詩想の森 -2つのバラッド-』は長田弘の「花を持って、会いにゆく」、「人生は森の中の一日」の2篇による「詩ふたつ」をテキストとした委嘱新作。ピアノと弦楽合奏による音の森の奥、うたは愛するひとを見送り、そしてまたともに歩み続けていこう。

この演奏会を親愛なるカール・ホグセツトに捧ぐ。



## 栗山文昭 (くりやま・ふみあき) ● 音楽監督・指揮

1942年鳥根県生まれ。鳥根大学教育学部特設音楽課程卒業後、二期会合唱団、東京混声合唱団で研鑽を重ねる。合唱指揮法を田中信昭、指揮法を高階正光に師事。中島健蔵音楽賞、下総院一音楽賞受賞。現在12の合唱団を有する「栗友会」の音楽監督として、NHK交響楽団、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団など多数のオーケストラでコーラス・マスターを務める。また「栗友会」各団体での演奏においては現代に立脚しつつ時代を俯瞰したプログラムを心掛けている。また、舞台芸術としての合唱表現の可能性を広げるべく、演劇と合唱との融合を目指した作品を多く世に出している。東京藝術大学講師、武蔵野音楽大学教授を経て、現在武蔵野音楽大学特任教授、鳥根県芸術文化センター「グラントワ」いわみ芸術劇場芸術監督。合唱人集団「音楽樹」芸術顧問。

この演奏会を親愛なるカール・ホグセツトに捧ぐ。



## 信長貴富 (のぶなが・たかとも) ● 作曲

1994年上智大学文学部教育学科卒業。1994・95・99年朝日作曲賞(合唱曲)、1998年奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第1位、2000年現音作曲新人賞入選(室内楽曲)、2001年日本音楽コンクール作曲部門(室内楽曲)第2位などを受賞。多数の合唱曲のほか、歌曲、器楽作品など多岐にわたる。「信長貴富歌曲集」「こどものためのピアノ曲集 スタートダッシュ」ほか出版多数。近年ではオーケストラや器楽アンサンブルを伴う合唱作品や、オペラなどの舞台作品も手がけている。主な作品に《新しい歌》(合唱)、《Fragments ~特攻隊戦死者の手記による~》(独唱/合唱)、《マリンバ協奏曲 混練するドルフィン・ソナー》、《オペラ 山と海猫》(加藤直台本)などがある。

©山口敦



## 草冬香 (くさ・ふゆか) ● ピアノ

東京藝術大学、同大学院修士課程修了。ドイツ国立フライブルク音楽大学ディプロム課程・ソリスト課程を最優秀の成績で卒業、国家演奏家資格取得。第4回ローゼンストック国際ピアノコンクール第1位、第2回アルトゥール・レプティエール国際ピアノコンクール第1位等受賞多数。東京藝術大学非常勤講師を経て、現在洗足学園音楽大学非常勤講師。



## 森口恭子 (もりぐち・きょうこ) ● ヴィオラ

桐朋学園大学研究科修了。東京音楽大学を首席卒業、併せてNTT docomoより奨学金を授与される。東京・春・音楽祭、霧島国際音楽祭、サイトウキネンフェスティバル松本「詩と音楽」などに出演。現在、読売日本交響楽団、紀尾井ホール室内管弦楽団ヴィオラ奏者。



## 吉岡麻貴子 (よしおか・まきこ) ● ヴァイオリン

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学を首席で卒業。学内において、安宅賞、アカンサス賞受賞。別府アルゲリッチ音楽祭、アフィニス夏の音楽祭、東京春音楽祭など、国内外の音楽祭、また、NHK『クラシック倶楽部』などにも出演している。2014年8月より一年間ウィーンにて研鑽を積む。現在、東京都交響楽団第一ヴァイオリン副首席奏者、東京藝術大学非常勤講師。



## 門脇大樹 (かどわき・ひろき) ● チェロ

東京藝術大学卒業後、レゾジョエミア音楽院、アムステルダム音楽院で研鑽を積む。第74回日本音楽コンクール第3位、ザルツブルクモーツァルト国際室内楽コンクール第1位。平成28年度エネルギー音楽賞受賞。現在東京音楽大学非常勤講師、神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席奏者。



## 寺井馨 (てらい・かおり) ● ヴァイオリン

東京藝術大学卒業。同声会賞を受賞。皇居にて御前演奏を行う。東京音楽コンクール、宝塚ベガ音楽コンクールなどにて入選入賞。小澤征爾音楽塾・サイトウキネンフェスティバルなどに参加。藝大フィルハーモニアに勤めた後、現在、読売日本交響楽団員。



## 高橋洋太 (たかはし・ようた) ● コントラバス

桐朋学園大学卒業後、同研究科修了と同時に2006年東京都交響楽団に入団。雑誌「Tarzan」にて、音楽家としての身体のメンテナンスを紹介するなど、その活動は多岐に渡る。2022年3月自身初のアルバム「Histoire」をリリース



## 合唱団響 (がっしょうだん・きょう)

栗山文昭を指揮者・音楽監督として1981年「合唱団OMP」を結成し、2001年1月「合唱団 響」と改名。結成当時より、古典から現代に至る国内外の優れた合唱作品に学び、演奏経験を積むとともに、邦人作曲家への委嘱を中心に活動している。「過去に学び、現在を生き、未来を創る」精神のもと、私たちの「郷の音」を求めながら、合唱が楽しく開放された文化として発展するために尽くすことを目指している。

2022. 10. 2 [日] 15:00 開演 [14:15開場]

東京オペラシティ  
コンサートホール：タケミツメモリアル

〒163-1403 東京都新宿区西新宿3-20-2 TEL 03-5353-0788  
● 京王新線「初台駅」東口(新宿寄り) 徒歩5分

### ● チケット(全席指定)

前売 S席3,000円/A席2,500円/学生席1,000円  
当日 S席3,500円/A席3,000円/学生席1,500円

※学生券でご入場の際に学生証をご提示下さい。※未就学児童の客席へのご入場はご遠慮ください。

### ● チケット取扱

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>  
合唱団響ホームページ <http://choirkyo.a1a9.jp/>  
栗友会事務所 FAX: 03-3985-5357

### ● お問い合わせ

合唱団響ホームページ <http://choirkyo.a1a9.jp/>  
栗友会事務所 [office@ritsuyukai.com](mailto:office@ritsuyukai.com)

※感染症拡大防止にご協力をお願いいたします。

詳細はこちら

